

プロフェッショナル出前講座 消費者教育

日時 2月16日(金)10:50~12:20

場所:会議室

外部講師:弁護士 本家 泉衣

CT恩田、AT学級担任

目標 ・外部講師による専門的な指導を通して、身近な消費者問題について様々な理解を深め、困った時の相談先を知る。

・外部講師との関わりを通して、気持ちのよいあいさつや言葉遣い等、場に応じたふるまいをする。

学習の流れ

活動内容	○支援 ●CT教員の動き	準備物
10:50 ①あいさつ	○見通しがもてるように、学習の流れを掲示しておく。 ○CTは、弁護士のイメージが持てるようにドラマやマンガを用いながら本家弁護士を紹介する。 ○ATは、入りにくい生徒がいた場合は、入り口付近またはオンライン参加など選択肢を提示する。	学習の流れ
10:55 ②自己紹介	○分かりやすいように、スライドを用いながら自己紹介をする。	PJ SC
11:00 ③クイズ	○消費者教育への意欲が高まるように、またどの程度知識があるか確認するために、カフトクイズを行う(全8問) ○クイズ毎に、簡単な解説をし、正しい知識を得られるようにする。	端末 PJ SC
11:10 ④投げ銭 ・説明 ・体験 ・1回目 ・2回目	○法律的な話も含め、投げ銭について説明し、理解を広げる。 ○投げ銭の体験をすることで、小さな投げ銭が大きな請求につながることを体感する。(お小遣い1万円設定、実際に見本紙幣を配布する) ○カウンターを用いて、200円、1000円、5000円の投げ銭ができるように事前に準備しておく。 ○体験は、一人一人が1押しできるように、ATが言葉がけ等をする。講師に押したことが分かるように、ATは札を使ってさりげなく知らせる。 ○1回目はゲーム動画、2回目は本校教員による動画を用いる。投げ銭の判断は生徒に任せるが、ATは言葉をかけて意思を確認する。動画終了後、ワークシートに投げ銭の金額等を記入する時間を設ける。 ○すべての投げ銭が終わったところで、ATは請求書を記入し、生徒に配布する。 生徒は、投げ銭=支払いのイメージが持てるように、支払う時間を設定する。 ○感じたことを後でふり返れるように、感想を記入する時間を設ける(ワークシートまたは端末)。	端末 ワークシート 筆記用具 見本紙幣 PJ、SC
11:40 ⑤買い物チャレンジ	○ボーナス10万円、月々給料5万円(グループホーム支払3万円、お小遣い2万円)設定とし、スマホを選択する時間を設け、契約への意識を高める。 5万中古(一括) 10万新品(一括or分割計12万) 20万新型(一括or分割計24万) ○理解を促すために、スライドを用いて写真等を提示し、ワークシートにも貼り付けておく。 ○ATと相談しながら、自分がどれを選択するか考える時間を設ける(5分程度) ○前に出て、実際に契約をする場面を設定し、オプションを勧められた際の、断る経験ができるようにする。また、当日の支払い、翌月の支払いの体験も取り入れ、イメージが広がるようにする。 ○感じたことを後でふり返れるように、感想を記入する時間を設ける(ワークシートまたは端末)。	スマホ 端末、 見本紙幣 ワークシート PJ,SC
12:15 ⑥まとめ	○まとめをしながら、契約等で困った際の相談先を知る。	PJ,SC